

第 38 回 日 本 社 会 学 会 大 会

第38回日本社会学会大会は、昭和40年10月9、10の両日、東北大学（仙台）において開催され、本研究所からは、上田正夫（人口移動部長）、黒田俊夫（人口移動部移動科長）、皆川勇一（人口移動部分布科長）の3技官が出席した。一般研究報告は、人口、産業・労働、マス・コミュニケーション、社会病理・教育、家族、基礎理論、農村・漁村、学史、集団・組織・リーダーシップ、都市、社会福祉の各部会に分かれて77題の報告があった。また、ほかに今年度のシンポジウムとして「戦後日本社会学の総括と展望」に関する三つの報告が行なわれ、3人の討論者による討論が行なわれ、これと並行して「地域社会の変化」と題する総合調査報告があり、志摩漁村および地域開発の社会学的調査研究結果が報告された。

一般報告のうち、人口に直接関係のあるものは次の四つであった。

黒田俊夫：世界人口会議と社会学

上田正夫：大都市社会の外延的拡大と居住環境の地域的特徴

西野入 徳（国士館大学）：墮胎及び避妊が日本社会に及ぼす影響

皆川勇一：近郊地域における農家労働力の流出形態

（皆川勇一記）

第20回日本人類学会・日本民族学会連合大会

昭和40年10月16～18日、東北大学において第20回日本人類学会・日本民族学会連合大会が開催され、108題の一般研究発表のほか2題の特別講演が行なわれた。本研究所からは小林和正（資料課長）、青木尚雄（人口資質部能力科長）両技官が参加し、それぞれ下記の研究発表を行なった。

青木尚雄：子供の体位と生活水準の相関関係について（研究発表 No. 85, 10月16日）

小林和正：縄文時代人骨による死亡年齢の推定（研究発表 No. 97, 10月17日）

（小林和正記）

第 4 回 日 本 老 年 学 会 総 会 ・ 第 7 回 日 本 老 年 医 学 会 総 会 ・ 第 7 回 日 本 老 年 社 会 科 学 会 総 会

標記3学会総会が昭和40年10月31日、11月1日の両日にわたり、東北大学川内記念講堂、川内講堂および松下会館の3会場で開催され、本研究所からは、館 稔（所長）、篠崎信男（人口資質部長）、黒田俊夫（人口移動部移動科長）、荻野嶋子（人口資質部資質科長）、小林和正（資料課長）および内野澄子（人口移動部移動科員）の各技官が参加した。

老年学会総会では、3会長の会長演説、特別講演2題（「食と健康維持」、「寿命と死亡秩序」）およびシンポジウム「老年者と労働」が行なわれ、老年医学会総会ではシンポジウム2題（「老年者の性機能」、「老年者と栄養」）のほか、招待講演があり、老年社会科学会総会では、会長演説、特別講演2題（「老人の幸福とその条件（社会保障の意味するもの）」、「老年者の栄養改善」）およびシンポジウム「東北農漁村と老年——宮城県における事例的研究」が行なわれた。なお、人口問題の研究と特に関係の深い老年社会科学会では20題の研究発表が行なわれた。

本研究所関係者の報告は次のとおりである。